

日本実験動物医学会 2017-2018 年度総会



2017年9月15日(金) 11:00~12:00
鹿児島大学
(第160回日本獣医学会学術集会)

総会次第

開 会

会長あいさつ

授与式

2017-2018年度(第14回)前島賞授与式

2016-2017年度 実験動物医学専門医認定式

議長選出

議 事

- [1] 理事・監事の任命
- [2] 2016-2017年度事業報告 (8/1~7/31)
- [3] 2016-2017年度決算報告
- [4] 2017-2018年度事業計画 (8/1~7/31)
- [5] 2017-2018年度予算案
- [6] 来年の学会とエクスカージョンについて
- [7] その他

報告事項

閉 会

授与式

◎2017-2018 年度（第 14 回）前島賞授与式

受賞者：

研究課題：

◎2016-2017 年度 実験動物医学専門医認定式

新実験動物医学専門医（敬称略）

認定番号135 石坂 智路
認定番号136 奥田 陽
認定番号137 倉谷 沙綾
認定番号138 鈴木 智
認定番号139 瀬戸山 健太郎

認定番号140 田崎 隆史
認定番号141 長沼 佑季
認定番号142 原田 伸彦
認定番号143 廣瀬 直毅

2015-2016～2017-2018 年度役員会および委員会

理事・監事

会長（渉外担当理事兼任）	安居院高志	（北海道大学）
副会長	三好 一郎	（東北大学）
理事（会計・事務局担当）	角田 茂	（東京大学）
理事	池 郁生	（理化学研究所）
理事	古市 達哉	（岩手大学）
理事	佐神 文郎	（ボゾリサーチセンター）
理事	佐々木宣哉	（北里大学）
理事（庶務担当）	森松 正美	（北海道大学）
理事	下田 耕治	（慶応義塾大学）
監事	黒澤 努	（鹿児島大学）
監事	橋本 道子	（アステラスリサーチテクノロジー）

各種委員会委員長

学術集会委員会	池 郁生	（理化学研究所）
研修委員会	佐神 文郎	（ボゾリサーチセンター）
実験動物学教育委員会	古市 達哉	（岩手大学）
情報・編集委員会	三好 一郎	（東北大学）
前島賞選考委員会	佐々木宣哉	（北里大学）
実験動物法規等検討委員会	下田 耕治	（慶応義塾大学）

【 議 事 】

[1] 理事・監事の任命

理事・監事（2017-2018～2019-2020年度）

各種委員会委員長（2017-2018～2019-2020年度）

[2] 2016-2017 年度事業報告（8/1～7/31）

1. 2016-2017 年度総会の開催

日時：2016年9月8日 11：30～12：30

場所：日本大学 第159回日本獣医学会学術集会

議事：2015-2016 年度事業報告（8/1-7/31） / 2015-2016 年度決算報告 / 2016-2017 年度事業計画案（8/1-7/31） / 2016-2017 年度予算案 / 年会費の改定について / 韓国獣医系大学実験動物（医）学担当者とのジョイントシンポジウムの開催について / 来年の学会とエクスカージョンについて / 報告事項

2. 理事会の開催

(1) 第1回理事会

日時：2016年9月6日 15：00～17：00

場所：日本大学 第159回日本獣医学会学術集会

出席者：安居院、池、角田、佐神、佐々木、下田、古市、三好、森松(以上理事)、黒澤(以上監事)

欠席者：橋本(監事)

(2) 第2回理事会

日時：2017年5月17日 10：00～12：00

場所：ビックパレットふくしま 第64回日本実験動物学会総会

出席者：安居院、池、角田、佐神、佐々木、下田、古市、三好、森松(以上理事)、黒澤、橋本(監事)

3. 学術集会委員会

委員長：池 郁生(理研)

委員：佐加良英治(副委員長、兵庫医科大)、北村 浩(酪農学園大)、小山公成(アステラスリサーチテク
ノロジー)、鈴木穂高(茨城大)、高橋英機(理研)、滝本一広(感染研)、中村紳一郎(滋賀医科大)

(1) 第159回日本獣医学会学術集会（日本大学）開催期間中、平成28年9月6日13:00～14:00に学術集会委員会を開催した。

議題：今後の実験動物医学シンポジウムについて

(2) 第159回日本獣医学会学術集会（日本大学）開催期間中、平成28年9月8日12:00～13:00に委員長が日本獣医学会プログラム委員会に出席した。

(3) 前回委員会から今回委員会までの間にMLで第64回日本実験動物学会総会ならびに第160回日本獣医学会学術集会におけるJALAMシンポジウム内容等について検討し、準備を進めた。

(4) 下記の通り、教育講演・シンポジウムを企画・開催した。

第159回日本獣医学会学術集会

JALAMシンポジウム 「実験動物を用いた粘膜免疫研究 ～基礎と応用～」

日時：平成28年9月7日 9:00～11:00

場所：日本大学生物資源科学部

第64回日本実験動物学会総会

日本実験動物医学会シンポジウム 「動物実験教育訓練における麻酔法・安楽死法の Minimum Requirement」

日時：平成29年5月24日 13:00～15:00

場所：ビックパレットふくしま

4. 情報・編集委員会

委員長：三好一郎（東北大）

委員：山添裕之（副委員長、住友化学）、綾部信哉（理研）、伊藤麻里子（名大）、大沼健太（佐藤製薬）、森松正美（北大）、和穎 岳（ヤクルト）

(1) JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」No. 47（2016.8 和穎担当）およびNo. 48（2017.4 大沼担当）を編集し、本学会ホームページ（HP）に掲載した。

(2) 本学会一般公開HPをjalam.jpドメインで管理運営し、随時、内容を更新した。

(3) JALAM-ML(jalam@umin.ac.jp)および会員HP（http://jalam.jp/htdocs/）を管理運営した。

(4) 第159回日本獣医学会学術集会（日本大学）開催期間中、平成28年9月6日14:00～15:00にJALAM情報・編集委員会を開催した。

出席者：

三好、山添、大沼、森松、和穎

議事：

1. 来年度の総会までに旧MLを廃止する（理事会、総会にて承認された）。

全会員への告知等の配信のために、会員専用ホームページに「全会員用掲示板(新ML)」のリンクを作成する。また、その利用法(PDFファイル)を掲載する。全会員宛のmailが配信されていないケースが散見されており、引き続きアドスリーと共に原因解明、解決法を模索する。

2. JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」の編集：No. 48(2017.5):大沼, No. 49(2017.8):三好

3. 現状で特に支障が無いことから、旧MLの廃止及び会員制HPへの統一「全会員用掲示板(新ML)」に伴う、「日本実験動物医学会メーリングリスト及び会員ホームページ利用規程」の改訂は行わない。

(5) 平成29年4月29日～5月12日の期間MLで「日本実験動物医学会ホームページ個人情報保護方針（案）」を作成し、平成28-29年度第2回JALAM理事会に提案した。

5. 研修委員会

委員長：佐神文郎（ボゾリサーチセンター）

委員：木村 透（副委員長、山口大）、安居院高志（北大）、林元展人（実中研）、高木久宜（日本エスエルシー）、首藤康文（残農研）、和田 聰（アステラスリサーチテクノロジー）、今野兼次郎（京大）、阪川隆司（ボゾリサーチセンター）、武井信貴子（イナリサーチ）、花井幸次（大日本住友製薬）

第159回日本獣医学会に合わせ、平成28年9月3、4日にウェットハンド研修会「I.げっ歯類及びウサギの獣医学的管理」を公財）実験動物中央研究所（川崎市）で共催した。参加者は28名。また、第1回委員会を9月5日に日本大学生物資源科学部で開催した。

第64回日本実験動物学会総会に合わせ、平成29年5月28、29日にウェットハンド研修会「II. イヌ及びブタの獣医学的管理」を(株)ジョンソン・エンド・ジョンソン MIT 研究センター（須賀川市）で共催した。参加者は35名。また、第2回委員会を5月27日にビックパレットふくしま（郡山市）で開催した。

6. 実験動物学教育委員会

委員長：古市達哉（岩手大）

委員：横須賀 誠（副委員長、日獣大）、安居院高志（北大）、浅野 淳（鹿児島大）、猪股智夫（麻布大）、大杉剛生（酪農学園大）、岡田利也（大阪府大）、角田 茂（東大）、木村透（山口大）、久和 茂（東大）、佐々木宣哉（北里大）、佐々木隼人（北里大）、佐藤雪太（日大）、竹内崇師（鳥取大）、田中あかね（東京農工大）、富岡幸子（鳥取大学）、二上英樹（岐阜大）、橋本 統（北里大）、森松正美（北大）、黒澤 努（鹿児島大）

(1) 実験動物学教育委員会メーリングリストを利用して、講義・実習に関する意見交換を行った。

(2) 第159回日本獣医学会学術集会（日本大学）において委員会を開催した（平成28年9月6日）。講義、実習、および獣医学モデル・コア・カリキュラム等について意見交換を行った。

(3) 獣医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠して編集された「実験動物学」（朝倉書店）の改訂作業を行い、第2版を平成30年3月に出版する予定である。

7. 実験動物法規等検討委員会

委員長：下田耕治（慶應大）

委員：大沢一貴（副委員長、長崎大）、笠井憲雪（東北大）、佐々木宜哉（北里大、平成 26 年度まで）、二上英樹（岐阜大、平成 27 年度より）、武井信貴子（イナリサーチ）、横山政幸（武田薬品工業）

- (1) 第 159 回日本獣医学会学術集会（日本大学）開催時、平成 28 年 9 月 6 日に委員会を開催した。
- (2) 中央環境審議会動物愛護部会（第 44 回）の議事要旨について、情報の共有を図った。

8. 前島賞選考委員会

委員長：佐々木宜哉（北里大）

委員：伊藤麻里子（副委員長、名大）、大杉剛生（酪農学園大）、田崎隆史（金沢医大）、土佐紀子（北大）、橋本憲佳（金沢大）、林元展人（実中研）、横須賀 誠（日獣大）、王 振吉（生理研）

2016-2017 年度前島賞候補者の選考を平成 28 年 9 月 7 日に行った。

その結果、下記の中野堅太会員を候補者としてふさわしいと結論し、安居院会長に報告した。なお、その後の総会で、同会員が表彰された。

候補者：中野堅太 会員（国立国際医療研究センター研究所動物実験施設 /北里大学獣医学部実験動物学研究室）

研究課題：エレクトロポレーション法における汎用的電気条件の検討

9. アドホック委員会

委員長：安居院高志（北大）

委員：小山公成（アステラスリサーチテクノロジー）、佐々木宜哉（北里大）、瀬戸山健太郎（鹿児島大）、武井信貴子（イナリサーチ）

イヌを動物実験に使用する際の提言を検討する委員会として発足した。

[3] 2016-2017 年度決算報告（8/1～7/31）（別紙参照）

一般会計決算報告について

会費納入状況について

[4] 2017-2018 年度事業計画（8/1～7/31）

1. 総会

2017-2018 年度総会を第 160 回日本獣医学会会期中に行う。

2. 学術集会委員会

- (1) 第 160 回日本獣医学会学術集会（鹿児島大学）開催期間中、委員会を 1 回開催する（平成 29 年 9 月 13 日）。
- (2) 第 160 回日本獣医学会学術集会（鹿児島大学）開催期間中、委員長が日本獣医学会プログラム委員会に出席する（平成 29 年 9 月 15 日）。
- (3) 下記の教育講演・シンポジウムを企画・開催する。
 - A) 第 160 回日本獣医学会学術集会（鹿児島大学）において JALAM シンポジウム「実験動物としてのブタ-最新の応用例から動物福祉まで-」を開催する（平成 29 年 9 月 14 日）。
 - B) 第 65 回日本実験動物学会（富山市）における JALAM シンポジウムを企画する。
 - C) 第 161 回日本獣医学会（日本生物科学研究所司催）における JALAM シンポジウムを企画する。

3. 情報・編集委員会

(1) JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」No.49（2017.8 三好担当）および No.50（2018.4 担当未定）を編集し、本学会ホームページ（HP）に掲載する予定。

(2) 本学会 HP を改訂し、その内容を随時更新する。

(3) 会員 HP（<http://jalam.jp/htdocs/>）を管理運営する。

(4) 第 160 回日本獣医学会学術集会（鹿児島大学）開催期間中、平成 29 年 9 月 13 日 14:00～15:00 に委員会開催予定。

4. 研修委員会

本年9月16, 17日に「II. イヌ及びブタの獣医学的管理」を鹿児島大学(鹿児島市)で共催する。160回日本獣医学会学術集会開催時(9月13日9:00~10:00)に委員会を開催し、ウェットハンド研修会のコアカリキュラム検討、同研修会の参加費等運営について審議。また、2018年5月の第65回実験動物学会に合わせウェットハンド研修会「III. サル類の獣医学的管理」を共催予定である。

5. 実験動物学教育委員会

- (1) 委員会を1回(平成29年9月15日)開催する。
- (2) JALAM 日韓合同シンポジウム「日韓両国における実験動物医学の卒前・卒後教育」(平成29年9月15日)の開催に協力する。
- (3) 実験動物学教育委員会のメーリングリストを通して、意見・情報の交換を行う。

6. 実験動物法規等検討委員会

- (1) 第160回日本獣医学会学術集会(鹿児島大学)開催期間中、平成29年9月13日14:00~15:00に委員会開催予定。
- (2) 動物愛護管理法の改正に関する情報を収集する。
- (3) 動物愛護管理法関連法規等について、理事会から諮問された案件について検討し、その結果を理事会へ報告する。

7. 前島賞選考委員会

第160回日本獣医学会学術集会(鹿児島大学)開催期間中、平成29年9月14日18:30~19:00に委員会開催予定。

8. アドホック委員会

イヌを動物実験に使用する際の提言(案)を策定する。

[5] 2017-2018年度(8/1~7/31) 予算(別紙参照)

1. 一般予算について

[6] 来年の学会とエクスカージョンについて

第161回日本獣医学会学術集会が日本生物科学研究所司催により9月に開催される。これに合わせてエクスカージョン(幹事未定)を実施する。

[7] その他

【 報告事項 】

1. 2016-2017年度会員数

日本実験動物医学会 会員数 合計 368名(2017年7月31日現在)

2. 2016-2017年度入退者数

入会 30名

退会 15名(会費滞納による退会3名)